



愛川ふれあいの村 4月の風景

平成29年4月 自然のたより

春たけなわと言いましょか。桜は散りゆく桜もある一方、花のピークを迎えるものもあります。村では7種の桜が織りなす素晴らしい景色が堪能できます。それと同時に新芽から一斉に葉を出し、みどりがまぶしく映ります。虫や鳥の声もよく聞くようになりました。短く感じる春は余韻を残しつつ、季節は移っています。



オオシマザクラ



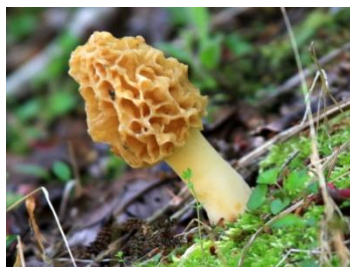
ニリンソウ



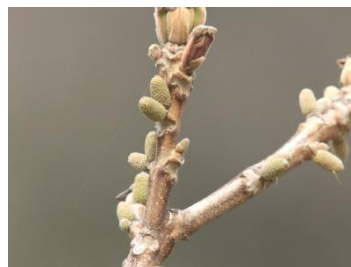
クマバチを捕えたヒヨドリ



ボケ



アミガサダケ



オニグルミの芽



レンギョウ



コブシ



オオバヤシャブシ



ミツマタ



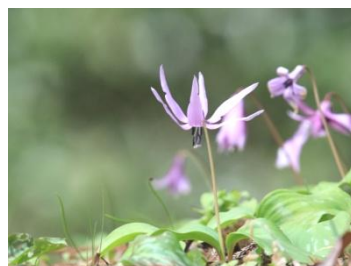
シャガ



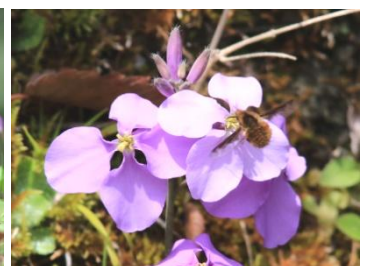
タチツボスミレ



ナガバノスミレサイシン



カタクリ



ヨカヅメの蜜を吸うビロードツバ

◆テンナンショウの驚くべき生態◆

4月～初夏にかけて、『ミミガタテンナンショウ』というサトイモ科テンナンショウ属の植物が、花を咲かせます。といっても外側から見えるのは、花を包む葉「仏炎苞」といわれる部分で、ミズバショウの白い部分と同じです。花（肉穂花序）はその内側にあります。そして、テンナンショウには2つの驚くべき特徴があります。



▲ミミガタテンナンショウ(オス)

①テンナンショウの仲間は、オスとメスに分かれているものがほとんどです。そして驚くべきことに栄養状態によりオスになるかメスになるか決まります(以下、性転換)。種から芽生えて数年は花をつけず、球茎(栄養を蓄えた茎)の栄養状態が良くなるにつれてオスに、さらに良くなるとメスに性転換します。そして、葉を失うなど球茎の栄養がなくなると、オスに戻り栄養を蓄えるようです。これはオスもメスも花を咲かせることは変わりませんが、実をつけるメスの方がエネルギーを大量に消費するためだと推測できます。

②仏炎苞内部は、入り込んだ虫が這いあがれない仕組みになっています。仏炎苞の下部に隙間があるものがオス、ないものがメスという特徴があり、まず蜜を目指してオスの仏炎苞に入った虫が、花粉を体につけて下部の隙間から抜け出します。同様にメスの仏炎苞に入り込み、出口を探して動き回ることによって受粉完了。そして、虫が犠牲を払って受粉に成功したメスは、秋に真っ赤な実をつけます。

これらの性転換と仏炎苞の仕組みは、自ら動けない植物が行き着いた、効率よく子孫を残すための究極の方法なのかもしれません。(梅本)



▲仏炎苞の隙間(オス)

▼虫のかくれんぼ、その活用▼

写真の生き物は何に見えますか。枯れ葉…ではなく、“蛾”です。名前はアカエグリバといい、枯れ葉に『擬態』しています。

擬態をするのは虫だけではありません。例えば、迷彩服やかくれんぼ(木に成りきるなど)で人も擬態を活用しています。

このように擬態は身近なところに隠れています。他にもアメリカ軍では擬態をするタコの研究が進められ、戦争に役立てようとしています。迷彩服もそうですが、戦争のために使うのではなく、かくれんぼのように平和的に使われることを願います。(石川)



※擬態とは動物が攻撃や自衛のために、体の色や形などを周囲の物や植物、動物に似せること。

★山椒・第一弾★

日本の代表的な香辛料と言えば、山椒を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。山椒には、「木の芽(葉山椒)」「実山椒」「粉山椒」があり、それぞれの部位によって匂いが違います。『木の芽』とは、山椒の若葉のことを指しまさに今が旬です。木の芽には、サンショウオールという辛味成分があり食欲増進や、胃腸の働きを活発にする効果があるそうです。

みそ和え・佃煮にして食べるのであれば、新芽を使います。飾りとして添えるのであれば少し固くなった葉も使用し、添える前に手のひらに乗せ軽く叩いて香りを立たせて使います。木の芽を添えるだけで、春を感じ、料理が一段と美味しくみえます。(菅原)



(吉田) みたいての満開が、一度分をう香り成

◎五月の注目ポイント◎
桜前線の北上はいつもお花見の楽しいニュースになっています。今年は東京での開花が早く、東京の次に九州などで開花し、南下後に北上しました。しかしその後の寒さの影響でいつもよりも開花期間が長かったようです。
今は、白い総状花序(ブラシのように房状に咲く)のウヰミズザクラの花が咲き始めています。ウヰミズザクラ(別名ハハカ、占溝桜、上溝桜)はバラ科サクラ属で二十メートルほどになる落葉高木です。たくさんの花が咲きその下に若草色の葉が付きとても華やかなのに意外と注目されています。そのわけは、炊事場の上の段に1本だけ生え、背が高く見えにくいからです。
しかし満開の花の下に行くと、桜餅のような香りがして気分爽快になってきます。それはオオシマザクラと同じようにクマリンとい

発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611 HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・石川雄馬・菅原妙子・梅本恭代

文章：石川雄馬・菅原妙子・梅本恭代・吉田文雄

編集：石川雄馬・渡部秋人・吉田文雄



愛川ふれあいの村で、検索★